

け〜な

2022年7月号
発行:合名会社 天草酒造 / 発行人:平下 豊
Creative Direction, Design, Writing & Edit:小園勝之
撮影:野見山明子

Volume. 5
2022.JUL

※『け〜な』は、天草の方言で「おいで」という意味



焼酎と農業

「農業」。それは私たち天草酒造にとって、あのCDショップの例のキヤッチコピーほどの重みがあるものです。なので、つついマネしてみちやいました(笑)。

天草酒造では、焼酎の原材料になる芋と米を自分たちで作っています。外から買う分もありますが、今はその比率を減らしていき、自社栽培の原材料の比率を上げていくところです。

疫病。農家にとって、農業はさまざまにリスクのたまたかいなのです。そうした生産者さんの気持ちを本当に理解するためにも、農業を自分たちで行うことが大事だと考えています。また、農業をやるからには当たり前ですが、良い芋・良い米を、いち農家としていかに作り上げていくかにも、腐心しています。ここには「原材料を作ってください。生産者さん方とも、どっちが上下などではなく対等な立場で居たい」という思いがあるからです。

なぜそうしているかと言うと、理由は大きく2つあります。1つは、農業を大事に思っているからです。良い原材料があれば、焼酎は当然造れません。一方で、本当に大変なのが農業です。天候、害獣、

2つめは、耕作放棄地問題です。この天草・新和町でも近年の少子高齢化に伴う離農などの原因から、耕作放棄地となってしまう田畑が少なくありません。これを





放置してしていると、イノシシなどが
増え、田畑への獣害が増えていき
ます。こうした耕作放棄地を少し
でも減らすべく、我々がそこで営
農することで、それが獣害対策に
もなるのです。

こうして、この数年をかけ少し
ずつ田畑を拡張、生産量を増やし
てきました。今年も過去最大量の
芋の収穫を予定しています。

前置きが長くなりましたが、去
る5月の連休明けのある曇り空
の日、今シーズンの芋植えを行
いました。軽トラ満杯に積み上げら
れたサツマイモの苗を、朝早くから

蔵総出で植えました。取材に来て
いたカメラマンさんや、最近近く
移住してきた方も一緒になって手
伝ってくれたおかげで、この日だけ
で、全体の半分くらいまで苗を植
えることができました。

さて、今年の芋の出来や如何に。
秋の収穫にはそれが程度分か
りますが、最終的な答えは次の新
焼酎が出来るまで分かりません。
でもきっと大丈夫。芋植えが終わ
る頃には、曇天もすっかり青空に
なっていたし、このKANPAI
AMAKUSAからの風景を眺
めながら、気長に待ちたいと思っ
ています。



天草人酒蔵人

#5 岩下さん



趣味
野菜作り
(田5反、デコボン100本!)

好きな焼酎
池の露

天草のおすすめ
住みやすさ

仕事内容を教えてください。
原材料の下処理や、瓶詰め、ラベル貼り、
箱詰め、農作業など。昔はもろみの權(かい)入
れなど、つくりの工程もやっていました。息子
(現工場長が入った人手も足りてきて、そこ
からはつくり以外の所が中心になっています。
— どういった経緯で天草酒造に?
— 20年ほど前の焼酎ブームがきた頃
は、本当に忙しかった。当時はつくりの工程
も担当していたのですが、蒸し米が失敗しな
いか? 失敗しないコトはなにか? 注意とプ
レシヤーの日々でした。それこそ夢に出て
くるほど。大変でしたが、先輩もよい人が多
かった。おかげですと楽しく働いています。
— 2021年5月には、KANPAI
AMAKUSAがオープンしました。この
場所への思いなどお聞かせください。
— 天草酒造は、岩下さんにとってどんな
場所ですか?
— 人生の半分、天草酒造です。70年ほど生き
てきましたが一番良いですよ。家で農業も
行っているのですが、時間の融通など、わがま
まも聞いてもらいました。ありがたいですね。
— とても元気な岩下さんですが、何歳
まで働くんでしょう?
— 今日芋植え(取材日に行っていた)も、ど
うしてもいい(笑)。普段から農業やってい
ますしね。百歳までは言いませんよ(笑)。
目標は1年ずつ伸ばしていこうね。

以前の当コラムで、野
球の話は何度かした。サウナのテレビのチャ
ンネル選択時におけるひびきの野球チーム話や、聡明
な読者諸氏であれば私が
野球たとえをしがちなも
ご承知のことであろう。念
のため言うておこう、この
コラムはサウナのコラムだ
である。昨今のサウナブーム
よりずっと前から、ライフ
ワークとしてサウナを愛し
てきた小生が、サウナ愛を語る。それがこのコラムだ。
私は巨人ファンである。昔はかなりの熱心なファン
だったが、それも今ではだいぶ落ち着いた。この辺りの
経緯を話していくと、1冊本を書けるので(そんな本
誰か読むのかはさておき)ここでは割愛する。さて、いつ
ものごとく当コラムを書くべくサウナに来た。気になるテ
レビのチャンネルは、むしろ野球中継である。土日に関
しては、大体14時のプレイボールだ。サウナに行けそう
な土日には、全ての予定を午前中に済ませ、昼飯も早
めに済ませ、14時目がけてサウナに行く。土日の私も我
ながらプロ選手さながらのストイックさである。
野球は良い。ゆっくり進む。攻守交代がある。ピッ
チャー交代時なんかは絶好の水風呂のチャンスだ。サ
ウナ客への配慮か?と思うほど、ちょうど良い尺だから
感激する。一方、サッカーだとそうはいかない。前
後半が45分ずつ基本的にノンストップだし、選手だっ
てパッパと変わる。あるあるなのが、水風呂に入ってい
る時に限って点が入る(!)。サッカーを作った人はサウ
ナには配慮しなかったようである。どうやらサッカーは
家で集中しながら観るものようだ。
おっと、ついつい脱線しそうになった。今日は巨人・
阪神戦。伝統の一戦は、サウナ仲間とのコンセンサス
が得やすい。巨人ファンが多いからなのだが、その理由
は2つだ。まずひとつ目、熊本県は打撃の神様・川上哲

け～な Volume.5 2022年7月号(隔月刊/偶数月28日発行)

【次号予告(10月末発行予定)】
今後も新コンテンツ絶賛企画! ご期待ください!

10月発売予定!
「チンたら」九州地方の方言で「ゆっくり」の意。どちらかと言うと「だから」のニュアンスが強いこの言葉、じつは昔ながらの焼酎の蒸留法「チンたら蒸留」から来ているという説が有力なのをご存知でしょうか。
その名の通り、非常に少量ずつしか蒸留できない方法で、通常の蒸留に比べ1日の蒸留量が極端に少ないですが、味の深みと香りの立ち方はこのチンたら蒸留ならではのものです。
そんなチンたら蒸留でつくろ池の露をこの度レギュラーラインナップに加えました。その名も「池の露 SLOWRY」。さらに「紅はるか」「紫芋」というように、芋の品種ごとに数量限定でリリースしてまいります。皆さまにおかれましても、まずは10月までチンたらとお待ち頂ければ幸いです。

★新商品予告
池の露 SLOWRY
(芋/720ml)
○アルコール分:25度